

小学校国語科 指導の充実3STEP!!

～「全国学力・学習状況調査」の分析結果より～



STEP1

児童の学びの実態把握

全体的な傾向

文のきまりや漢字などの、知識・技能は、全国比を上回った。思考・判断・表現は全国比を下回り、特に読む領域や記述式の出題で正答率が低い傾向にある。

	平均正答率
本県	65
全国	64.7



成果の見られた問題①とその要因

正答率(全国比較)	設問
58.6 (+4.2)	3三(1)ウ

<問題の概要>

丸山さんの【文章の下書き】を、漢字を使って書き直す(つみ重ね)

「漢字」についての設問では、正答率の全国比が平成29年度は+2.2、平成31年度は+4.4であった。今年度も高いポイントを示している。

学校での継続した指導により、学習習慣の定着や家庭学習の充実が図られていると考えられる。

今後も漢字の意味を考え、文章の中で正しく使う学習を継続し、生活や他教科で活用できる力を育てたい。

成果の見られた問題②とその要因

正答率(全国比較)	設問
71.0 (+4.0)	3三(2)イ

<問題の概要>

丸山さんの【文章の下書き】の中の、「残されています」の主語として適切なものを選択する

「主語と述語の関係」についての設問では、正答率の全国比が平成27年度は+0.7、平成30年度は-0.6であった。

主語と述語の関係や正しい係り受けを意識した指導など、低学年から言葉の特徴や使い方に気を付けた指導がなされていることがうかがえる。

また、文章の構成を考える設問の正答率も高くなっている。今後も、読む領域の指導で構成や展開の良さに着目させ、書く領域の指導に生かすことが大切である。

課題の見られた問題①とその要因

正答率(全国比較)	設問
32.5 (-1.9)	2三

<問題の概要>

面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したかをまとめて書く

設問の条件①で問われている、面ファスナーを作り出すための「ヒント」について読み取ることはできているが、「面ファスナーのくつつく仕組み」について本文と図表を結び付けて読み取ることができていない。

正答率の全国比が平成31年度は-1.8、平成28年度は-3.0であり、「文章と図表とを結び付けて、必要な情報を見付ける」ことに引き続き課題がある。

課題の見られた問題②とその要因

正答率(全国比較)	設問
27.4 (-2.3)	2四

<問題の概要>

面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているかをまとめて書く

面ファスナーが宇宙でも使われていることについて端的にまとめるために、必要な部分を的確に読み取る設問である。

条件①にある「国際宇宙ステーションの中での使われ方が書かれている部分」が読み取れていない。文章や段落の中心となる語や文を捉え、それを適切に結び付けて、条件に合わせて要約することができていない。

改善については裏面へ



STEP2

更なる学びの充実のための授業改善

課題の見られた問題①について

課題の見られた問題を解くのに、どのような力を付けたいの？

問題と関係する指導事項を見てみましょう。

第5学年及び第6学年〔C 読むこと〕ウ
目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

課題の見られた問題②について

第3学年及び第4学年〔C 読むこと〕ウ
目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

3・4年生の指導事項からも出題があるのね！

どのような授業をすればいいの？

身に付けたい力を明確にし、指導事項にかかわる言語活動を工夫した授業をしましょう。

<言語活動例>

ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。

◇必要な情報を見付けさせたり、論の進め方について捉えさせたりする時には、文章とともに添えられた図表などから、読み取れる情報や効果についても考えさせるようにしましょう。

◇複数の情報を比較・分類したり、関係付けたりするために、本や文章を比べて読む活動も取り入れるようにしましょう。

いろいろな領域で、図表と文章を結び付ける学習活動ができそうだね。

<言語活動例>

ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。

◇説明的な文章で、筆者が言いたいことを踏まえて中心となる語や文を選び、それを条件に合わせて結び付ける学習活動を設定しましょう。

◇文章を要約させる時には、問いに対する答え、くり返し出てくる言葉、まとまりの中心となる文、等に着目させましょう。

他教科の学習でも、情報を収集する際には、中心の語や文を見付けさせてみよう。

結果が返ってきた調査の結果について、児童と何を確認すればいいかな？

解説動画が参考になります。調査問題の振り返りや授業の中で活用しましょう。

◇文章と図表などを結び付けて内容を理解する学習活動を設定し、解説動画を児童に視聴させ、文章と図表がどのように対応するのか考えさせましょう。(動画参照7分50秒～12分10秒) [動画リンク](#)

動画を見せながら文章と図表を関連付けて読み取ることの良さを確認させてみよう。



◇解説動画では「面ファスナーのよさ」と「使われ方」が読み取りの目的であることを確認し、中心となる語や文を選んでいることを確認しましょう。(動画参照7分50秒～12分10秒) [動画リンク](#)

要約するためには、目的に応じて中心となる語や文を読み取らせることが大切なのね。



STEP3

他学年の授業改善

[授業改善につながる考え方]

- 単元で身に付ける指導事項を明確にし、低学年からの指導内容の積み上げを意識しましょう。
- 単元や授業で学んだ内容を振り返りの中で一般化し、他教科や生活場面で生かせるようにしましょう。
- 小学校でも、思考力・判断力・表現力等を伸ばすため、身に付いている知識・技能を生かし、課題解決的な学習の充実を図りましょう。

[校内研修での取り上げ方]

- 自校の結果を分析するとともに、問題の内容から、自分の学年で付けるべき力や関連する単元を学年ごとに確認しましょう。